



# 自然災害に備えて

昨年7月の鹿児島県北部豪雨災害は、広範囲にわたり川内川がはん濫し、住宅や店舗流失など甚大な被害を受けました。毎年、集中豪雨や台風などにより、全国各地で水害が発生しており、尊い命と多くの財産が犠牲となっています。これから、雨期や台風など、雨の多い時期を迎えます。日頃から防災意識を持ち、「いざ」というときに慌てることなく、対応できる準備が必要です。

5月13日、出水期を迎えるまに、神子地区神子橋下流の河川敷で、川内川下流地区の水防演習が行われました。

異常気象と言われる今日、災害はいつどんなときに発生するか予測がつきません。また、水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるためには、水防活動の必要性はますます大きくなっています。

このため、毎年5月1日から31日の1ヶ月は「水防月間」として、「洪水から

守ろうみんなの地域」をテーマに水害から国民の生命と財産を守るため、水防の重要性和水防思想の普及を図り、水防に対する理解と協力を深めています。

川内川水防演習もその一つとして、鶴田ダム下流域の自治体、各防災関係機関が、昨年の豪雨災害の教訓を生かして、堤防の洗掘箇所を拡大、崩壊を防ぐための様々な水防工法の演習や人命救助などの実践的な訓練を実施しました。

(写真：表紙)

## 自助

自助とは、自分の命は自分で守ることです。災害時に自分や家族の安全確保ができるようかねてから心がけましょう。

## 共助

共助とは、地域ぐるみで、みんなで助け合うことです。これまでの災害でも地域住民が協力して多くの安全確保が図られています。

## 公助

公助とは、役場、消防機関、警察などの行政機関が主体となって災害の情報収集や伝達、救助活動、避難所の開設・運営などを行うことです。